

令和5年度 第1回 学校運営協議会議事録

日時 令和5年6月23日(金) 15:30~17:00

場所 本校同窓会館

参加者 委員 東崎 康嘉 近畿大学 理工学部 教授
根井 加奈美 小阪中学校 校長
川野 充信 八尾商工会議所 事務局次長
増本 哲男 東大阪商工会議所 常務理事 事務局長
正木 猛司 同窓会長 正木建設株式会社 代表取締役会長
島 未央 介護老人保健施設 プレジャーライフ 事務長
山本 紗衣 令和5年度 PTA会長

事務局 川崎 哲也 教 頭
加藤 孝 事務長
佐伯 陽介 首 席
千田 充弘 首 席
小池 清隆 首 席 兼 進路指導主事
笹山 秀樹 機械系長
杉本 岳久 電気系長
渡邊 千佳 建築設備系長
芦田 和光 教務部主任
近藤 智也 教務部 ICT 主担
前田 卓哉 教務部 PTA 顧問
藪田 大輝 生徒支援部主任 生徒指導主事
渡邊 里子 生徒支援部 保健指導主事
小島 大亮 生徒支援部 生徒会
岡 雄一郎 3 学年主任
西村 康平 2 学年主任
西本 貴博 1 学年主任

◆1 校長挨拶

- ・第2次教育振興基本計画から安全安心な居場所づくりなどを実施している。
- ・新入生 162 人 全生徒 430 人と志願状況厳しい。
- ・再編整備計画にもとづき PBL の推進、企業連携を実施している
- ・ものづくり人材における、スクールポリシーを策定している。

◆4-1) 学校経営計画についての説明

1、確かな学力と社会に向かう力を育成する学校

- ・PBL「キャリア設計」においてプレゼンテーション能力育成を図る。
- ・観点別評価にあわせた授業内容改善を実施していく。
- ・基礎学力分析（GTZ）をもとに個別最適化学習を取り入れ、学力向上を図る。
- ・インターンシップ・デュアルシステムの実施
- ・企業連携、講演会の実施
- ・資格検定、コンテスト等への推進していく

2、生徒一人ひとりの尊重

- ・教育相談体制の充実
- ・生徒指導での生徒の納得できる指導を引き続き実施
- ・生徒会活動、部活動において、生徒が主体的に活動する学校づくり。

3、安心安全で魅力的ある学校

- ・安心安全な高校生活のためのアンケート、教育相談会議で情報共有を行う。
- ・ショッピングモールでのものづくり、大和ハウスとの連携事業を行う。
- ・働き方改革、校務運営の効率化、ペーパーレス化を推進していく。

◆4-2) 教科書選定

6月12日 第1回選定委員会

6月29日 第2回目選定委員会で決定

◆4-3) 各セクションからの報告を実施。

◆【質疑応答】

- ・ 体育祭の工科高校生の力を生かした取り組みはとてもいい。文化祭においても、ターゲットを決めて実施するのは、わかりやくいい取り組み。
- ・ コミュニケーション力を育成するのもターゲットを決めて訓練すると効果は多くなる。
- ・ 5軸のMCにおいては、近畿大学と競争してモノづくりをすることなどを実施するとより活発になるのではないか。
- ・ 進路先として明確なキャリア形成のできる学校として認識しました。
- ・ 学び直しの取り組みがあることで中学生の進学への不安の解消となる。
- ・ 質問) 1年遅刻欠席の指導強化という配慮があっても2,3年生に比べると多い現状でしょうか。

回答) 全体の遅刻は減っています。電話、家庭訪問の実施で遅刻は確実に減っている。休まないことも指導を徹底しているので、休まずに来る(遅刻しても)ので、一定数の遅刻はあります。学校に来てこそその、そこからの積み上げの指導を進めていきたい。

- ・ 5軸のMCを今後企業連携や、さらなる活用を進めていただきたい。なにせ、企業も持っていないいいものですから。
- ・ 建築設備で大和ハウスとの連携をされているので、八尾ではゼロカーボンシティ八尾推進協議会というカーボンニュートラルの研究、部会を作っている部署があるので、情報提供していきます。
- ・ 質問) アレルギー、既往症の際の対応、まわりの生徒で声をかけてくれますか。
回答) 周囲にカミングアウトできるかもあるが、周知していることに関しては生徒も助け合いをしている。
- ・ 質問) 献血車両は誰が対象? 地域の人も?
回答) 過去に2回きている。学校に来てくれると、やってみやすい環境を作れるので、まずやってみられる入り口を用意してあげるとよいと考えています。